

黒羽は松尾芭蕉が「奥の細道」で、最長の14日間逗留をしたところだ。長い滞在の理由は諸説あるが、様々な歓待を受け、居心地が良かったことは間違いないだろう。多くの句を残した、芭蕉ゆかりの地だ。そんな黒羽の代表的な寺を二つ。

- 1 黒羽山大雄寺は、総蓋葺き屋根の禅寺だ。坐禅体験ができる。  
壁に向かって座り、息を整え、手を組む。  
何も考えない、それが難しければ浮かんできた事柄を深く追いかけないと教えられる。  
それだけのことが実はとても難しい。

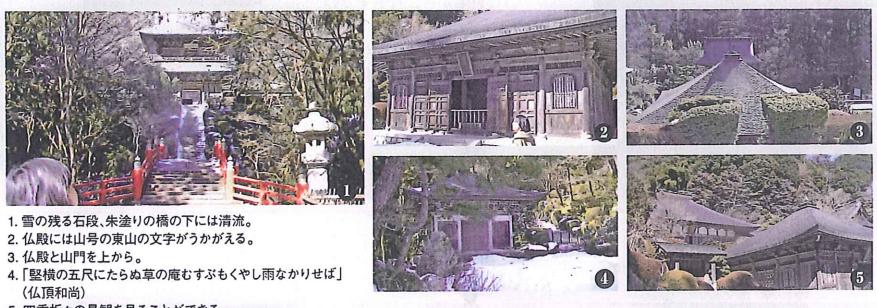


「芭蕉の館」前、芭蕉と曾良、奥の細道の旅が続く。



2. 「芭蕉の道」芭gioもここを歩いたのかもしれない。  
3. 大雄寺の玄関。木造で来訪を告げる。  
4. 修行もまずは掃除から。  
5. 坐禅のやり方を教えてもらう。いつになく真剣。
6. 禅堂、壁に向かって座る。  
7. いよいよ坐禅。  
考えを深く  
追いかけないようご…。

- 2 芭gioはさらに禅宗四大道場のひとつ、雲巖寺へも足を延ばしている。  
深川で交流のあった仏頂禪師ゆかりのこの地をかねてから訪れたいと願っていたという。  
「木啄も庵はやぶらず夏木立」(芭gio)  
一步足を踏み入れると、凜とした空気に包まれる。  
小さな声での会話さえ、邪魔になる。  
大杉、朱塗りの反り橋、石段。  
雲巖寺での修行はとても厳しいものだとく。  
新緑、紅葉、雪景色と、どの季節を訪れても味わい深い表情を見せてくれる。



1. 雪の残る石段、朱塗りの橋の下には清流。  
2. 仏殿には山号の東山の文字がうかがえる。  
3. 仏殿と山門を上から。  
4. 「堅横の五尺にたらぬ草の庵むすぼもくやし雨なかりせば」  
(仏頂和尚)  
5. 四季折々の景観を見ることができる。

### 3 渡邊酒造 ~ひたむきに米と向き合っている~

八溝山系の清らかな水、厳選された米、高い技術、そして最も重要なこと、おごることなく、米ときちんと向き合っている人がいること。  
みなさまに愛され続けている名酒「純米吟醸山水閣」は、この渡邊酒造で作られている。

純米吟醸ながら香りをあえて抑え、繊細な和食の味を引き立たせている。  
花冷えの晩には、ぬる燶にするのもうまい。  
閉じ込めていた香りがほのかに漂う。  
山菜をつまみにゆっくりと傾けていただきたい。



お知らせ 「山水閣のお取り寄せ」が新しくなりました。山水閣HP右下、「山水閣のお取り寄せ」バナーよりお入り下さい。山水閣オリジナル商品を中心にご自宅へお届け致します。

### 編集後記



今回のお便りから始まった動物シリーズ。  
生き物だいすき後藤さんは最初からアルパカに猛アタック!  
後藤さんよりエサ目当てのアルパカ達…  
それでもアタックしていく後藤さん。  
これからどんな動物と触れ合っていくのでしょうか。  
今後も那須のこと、そして山水閣の愉快なスタッフも皆様に知って頂けたらと思います。  
新しい山水閣だより、よろしくお願ひいたします。(咲)

**那須高原の宿 山水閣**

発行 山水閣だより編集部  
〒325-0301 栃木県那須郡那須町湯本206  
TEL 0287-76-3180 FAX 0287-76-3080 http://www.sansuikaku.com

那須高原の宿 山水閣  
www.sansuikaku.com

那須別邸 回  
www.bettei-kai.jp

One ウエディング TheOne  
www.nasu-theone.com